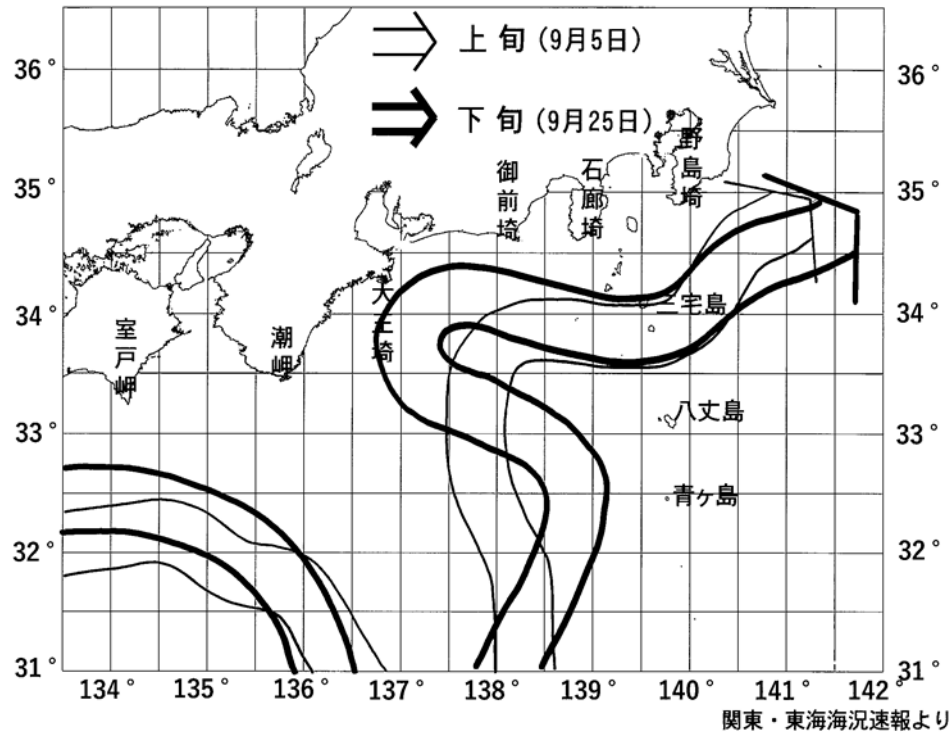


漁海況月報

令和5年9月1日

No. 9 ~9月30日

静岡県水産・海洋技術研究所
(電話 054-627-1815)
静岡県水産・海洋技術研究所 伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



関東・東海海況速報より

9月定地水温の旬平均値(°C) (下段は平年値*からの偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津
上旬	26.7	26.2	26.3	28.1	28.5	28.1
	1.5	0.9	1.4	2.3	2.7	2.2
中旬	26.8	26.5	26.4	27.7	28.3	28.0
	1.9	1.5	1.5	2.3	3.0	2.7
下旬	25.5	25.0	25.0	26.5	26.0	26.4
	1.5	0.7	0.9	2.0	1.7	2.1
月	26.3	25.9	25.9	27.4	27.6	27.5
	1.6	1.0	1.2	2.2	2.5	2.3

*平年値：過去30年(平成3年~令和2年)平均値

【黒潮流路】

9月を通じてA型で、潮岬沖で大きく離岸した後、上旬は御前崎沖まで、中旬は駿河湾沖まで、下旬は遠州灘沖まで北上する流路となった。

上旬は潮岬沖で大きく離岸し、大王崎沖 30.5° N 付近から御前崎沖 34.0° N まで北上した後東進し、三宅島付近を通過して北東に流去した。暖水波及が御前崎沖の黒潮屈曲部から熊野灘、遠州灘に向けて、石廊崎沖の黒潮北縁から大島西水道に向けて見られた。

中旬は潮岬沖で大きく離岸し、大王崎沖 30.0° N 付近から駿河湾沖 34.0° N までS字状に北上した後、東南東に向けて進み、三宅島~八丈島間を通過して 33.5° N、141.0° E から北北東に流去した。暖水波及が御前崎沖の黒潮屈曲部から熊野灘、遠州灘に向けて、石廊崎沖の黒潮北縁から大島西水道に向けて見られた。

下旬は潮岬沖で大きく離岸し、大王崎沖 30.5° N 付近から遠州灘沖 34.5° N までS字状に北上した後東進し、三宅島付近を通過して北東に流去した。暖水波及が石廊崎沖の黒潮北縁から大島西水道に向けて見られた。

【沿岸域水温】

上旬は稲取、下田で「やや高め」、伊東、雲見、焼津で「高め」、沼津で「極めて高め」であった。中旬は伊東、稲取、下田、雲見で「高め」、沼津、焼津で「極めて高め」であった。下旬は稲取、下田で「やや高め」、伊東、雲見、沼津、焼津で「高め」であった。

【竿釣カツオ】

9月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海及び沿岸竿釣り船によるカツオの水揚量は143.7トンで前年同月(39.5トン)の3.6倍であった。平均単価は361円/kgで前年同月(661円/kg)を下回った。

漁場は34-35° N、138-139° Eの駿河湾沖などで、御前崎港に水揚げされたカツオの尾叉長組成は小(尾叉長49cm)が主体で、特大(尾叉長67cm)が混じった。

竿釣り(近海+沿岸船)カツオ水揚量(県内主要5港)

期間	水揚量(トン)	水揚隻数	平均水揚量/隻(トン)	平均単価(円/kg)
R5年9月上旬	32.6	12	2.7	484
中旬	77.8	20	3.9	305
下旬	33.3	8	4.2	370
R5年9月計	143.7	40	3.6	361
R4年9月計	39.5	15	2.6	661
R3年9月計	149.9	41	3.7	176

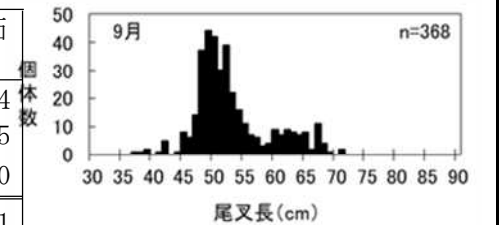


図 御前崎港で測定したカツオの尾叉長組成

【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は262.2トンで、前年(209.9トン)の1.2倍、平年(335.8トン)の78%であった。また、1か統当たりの水揚量は43.7トン(前年:30.0トン、平年:48.0トン)であった。水揚量の多い漁場は、伊豆山漁場(101.8トン、マアジ、マルソウダ、ヤマトカマス)、次いで北川漁場(66.7トン、ヤマトカマス、さば類、マアジ)であった。なお、古網漁場については資源管理休業のため今月操業がなかった。

多獲された魚種の水揚量は以下(表)のとおりで、マルソウダは64.4トンで、前年比5.6倍、平年比1.4倍であった。ヤマトカマスは52.3トンで、前年比1.6倍、平年比1.8倍であった。マアジは46.0トンで、前年比4.0倍、平年比2.0倍であった。さば類は30.3トンで、前年比49%、平年比26%であった。水揚げされたさば類のうち、マサバは0.5トンで、前年比3%、平年比7%、ゴマサバは29.8トンで、前年比73%、平年比26%であった。マイワシは15.4トンで、前年比76%、平年比1.2倍であった。

多獲された魚種の主な漁場は、以下(表)のとおりで、各漁場の水揚量の割合は、マルソウダでは富戸漁場が38%(24.3トン)、伊豆山漁場が36%(23.1トン)、北川漁場が15%(9.7トン)、ヤマトカマスでは北川漁場が48%(24.9トン)、伊豆山漁場が27%(14.2トン)、マアジでは伊豆山漁場が68%(31.3トン)、北川漁場が24%(11.0トン)、さば類では北川漁場が54%(16.4トン)、伊豆山漁場が29%(8.7トン)、マイワシでは伊豆山漁場が53%(8.1トン)、赤沢漁場が38%(5.8トン)であった。

*平年:昭和57年~令和4年の平均値

多獲された魚種の水揚量と主な漁場

魚種	水揚量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
マルソウダ	64.4	5.61	1.38	富戸、伊豆山、北川
ヤマトカマス	52.3	1.56	1.81	北川、伊豆山
マアジ	46.0	4.03	2.00	伊豆山、北川
さば類	30.3	0.49	0.26	北川、伊豆山
マイワシ	15.4	0.76	1.23	伊豆山、赤沢

【サバたもすくい・棒受網】

小川港所属の棒受網漁船は月を通じてたもすくい漁業主体で操業し、漁場は月を通じて利島、大島千波に形成された。水揚量はゴマサバ53トン(前年同月比39%)であり、1隻当たり水揚量は6.6トン(前年同月比58%)であった。マサバの水揚げは無かった(前年同月水揚げ無し)。1kg当たり平均単価は163円と前月(194円)、前年同月(168円)をともに下回った。漁獲物の体長組成は、32cmにモードを持つ単峰型を示した。

小川港 さば類(たもすくい・棒受網漁業)水揚量

期間	水揚量(トン)		水揚日数	水揚隻数	水揚/隻(トン)		平均単価(円/kg)		漁場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
R5年9月上旬	-	4	2	2	-	1.8	-	237	利島、大島千波
中旬	-	47	5	5	-	9.3	-	155	利島、大島千波
下旬	-	3	1	1	-	2.6	-	221	利島
R5年9月計	-	53	8	8	-	6.6	-	163	利島、大島千波
R4年9月計	-	136	6	12	-	11.3	-	168	ひょうたん瀬
R3年9月計	-	36	6	9	-	4.0	-	155	大室出し

*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

*表中の「-」は水揚げがなかったことを示す。

【シラス船曳網】

県内主要6港における1日1か統当たりの水揚量は、駿河湾(静岡、吉田)が162kg、遠州灘(御前崎、福田、舞阪、新居)が106kgであった。平均水揚量は135kgで前年同月(175kg)の76.8%、平年同月(過去5か年平均:293kg)の45.9%であった。また、総水揚量は132.2トンで前年同月(189.5トン)の69.7%、平年同期(439.4トン)の30.1%で前年、平年を大きく下回った。平均単価は1,566円/kgで前年同月(988円/kg)の1.6倍、平年同月(810円/kg)の1.9倍で前年同月、平年同月を大きく上回った。

主要6港のシラス水揚量(主要6港)

漁港	水揚量(トン)	延日数	延統数	平均水揚量(kg/統)	平均単価(円/kg)	
遠州灘	新居	1.3	7	23	54	1,522
	舞阪	20.4	9	239	85	2,049
	福田	13.9	8	143	97	1,761
	御前崎	15.4	8	75	206	1,249
駿河湾	吉田	58.0	11	286	203	1,254
	用宗	23.2	13	215	108	2,020
R5年9月計	132.2	56	981	135	1,566	
R4年9月計	189.5	57	1,081	175	988	
R3年9月計	763.9	102	2,357	324	758	

*各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

*平年:過去5か年(平成30~令和4年)平均値

【まき網(いわし類)】

マイワシの水揚量は、伊東港では20.2トン(前年水揚げなし、平年同月比57.0%)、沼津港では15.9トン(前年同月比1.3倍、平年同月比95.3%)、小川港では17.1トン(前年同月比98.9%、平年同月比2.4倍)、静岡港では水揚げがなかった。カタクチイワシは、伊東港、静岡港、沼津港、小川港のいずれも水揚げがなかった。

なお、伊豆半島東岸の大型定置網7か統の水揚量は、マイワシは15.4トン、カタクチイワシは水揚げがなかった。

*平年:過去5か年(平成30~令和4年)平均値

【調査船駿河丸の動向】

9月5日	~	9月6日	地先定線観測調査	(2日間)
9月11日	~	9月12日	サクラエビ卵数法調査	(2日間)
9月13日	~	9月14日	サクラエビ卵数法調査	(2日間)
9月15日			水質調査	(1日間)
9月19日	~	9月20日	サクラエビ卵数法調査	(2日間)
9月21日	~	9月22日	サクラエビ卵・幼生調査	(2日間)

静岡県水産・海洋技術研究所のホームページ

パソコンからは…… <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは…… <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。

